

基本方針1 健康づくりと介護予防の推進 (健康寿命の延伸)

基本施策項目 2－1
フレイル対策・介護予防の推進

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
なごやか寄り合い 実施会場数(か所)	302	335 (R6.3月末時点)	370
通所型サービスBの実施会 場数(か所)	27	26	60
からだ元気塾の 参加人数(人)	840	895	1,000

基本施策項目 3－1
高齢者が活躍できる場の推進

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
シルバー人材センター 会員数(人)	894	988	1,110
高齢者クラブ会員数(人)	10,495	9,582 (R6.4月1日時点)	10,500
まめなかポイント事業登録 活動者数(人)	96	115	300
高齢者バス割引乗車事業 延べ利用者数(人)	314,907	209,826	340,000

R6年11月末までの取組み内容、課題、今後の取組み方針

なごやか寄り合い*1は休止となっている団体への再開支援を行い、全体の約9割の会場が実施している。
からだ元気塾*2は送迎付きで公民館区29地区全地区での実施を継続するとともに、事業の普及啓発を行い、参加者が増加している。
高齢者が身近な通いの場で、自分の役割や生きがいを見出し、社会参加の意欲を高めることができるよう、引き続き、再開・新規立ち上げの支援や参加者増に向けた啓発活動を進める。

*1 各地区の公民館や集会所などで開催する高齢者の通いの場
*2 近くの公民館や介護予防事業所などで開催している運動教室

シルバー人材センターの会員数は増加してきており、引き続きPR活動の強化や出張入会説明会の実施等により、会員数の増加を図っていく。
高齢者クラブ*3では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの活動が中止・縮小されていたが、感染状況に配慮しながら徐々に活動の再開を進めている。会員加入促進に向けた活動についても、各地区でできる範囲の取組みを行っているが会員数は減少している。今後も加入促進のための諸活動や参加機会を増やす工夫等に取り組み、一層の会員加入実現を推進する。

*3 概ね60歳以上の会員からなり、社会奉仕活動やスポーツ・文化活動などを通じて交流を行う団体

基本方針 2 多様なニーズに対応した 介護サービスの提供

基本施策項目 6－1 給付適正化の推進

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
住宅改修・福祉用具購入利用者 宅の現地調査(回/年)	8	10 (12月に3件実施)	10
軽度者に対する福祉用具貸与 の再点検(回/年)	0	0 (1月～3月に実施)	1

基本施策項目 6－3 要介護認定適正化の推進

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
申請から要介護認定までの 平均期間(日)	39.0	37.9	37
認定調査員との 定期連絡会の実施(回)	2	4	6

R6年11月末までの取組み内容、課題、今後の取組み方針

住宅改修費の支給において、申請内容と利用者の状況の整合性を審査し、疑義が生じた申請の工事着工前の現地調査を10件実施したほか、福祉用具購入後の利用状況など3件の現地確認を行った。年度末に向けては軽度者に対する福祉用具貸与の点検^{*1}を予定しており、継続して給付の適正化に取り組んでいく。

^{*1} 軽度者（要支援・要介護1）の方の福祉用具貸与が適正に行われているか確認するもの。

要介護認定の更新申請の案内について、サービス未利用者には申請書を同封せず、かつ必要な場合は地域包括支援センター等へ相談いただくよう通知内容を変更した。これにより、被保険者やご家族に適切な判断をいただき、不要な更新申請を抑制することにつながっている。また、訪問調査の効率的な実施方法について検討を進めるとともに、細やかな主治医意見書の提出依頼を継続し、認定までの期間短縮に努める。認定調査員との定期連絡会については2か月毎に実施しており、調査項目の選択に苦慮するケースや認定審査会で質問の多い項目など速やかな情報共有を図っている。

基本方針 3 認知症施策の推進

基本施策項目 9 – 2 認知症バリアフリーの推進

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
見守りネットワークの協力事業者 数(事業者)	282	368	330
見守りシール利用 登録者数(人)	96	161	300
チームオレンジ 設置数(か所)	1	2	3

基本施策項目 9 – 3 普及啓発・予防

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
認知症サポーター 養成講座受講者数 (人:累計)	23,323 (うち令和4年度744人)	24,578 (うち令和6年度576人)	27,000
キャラバン・メイト 実働者割合(%)	75.0	76.4	80.0

R6年11月末までの取組み内容、課題、今後の取組み方針

行方不明高齢者の対策として、Q Rコード付きの見守りシール*1の配布を継続し、利用者が増加している。今後も、S N S等様々な媒体を活用し周知啓発行うとともに、見守り事業所の拡充に努め、見守り体制の強化を図る。チームオレンジ*2について、令和6年11月末時点では2か所開設している。今後も、認知症の方や家族の支援体制を拡充するため、チームオレンジの新規開設に向け、取組みを進める。

- *1 認知症等で道に迷われたりする高齢者の方の早期発見や身元の特定を目的に令和4年度より導入。発見者がシールに記載された番号を伝えることで個人が特定できる。
- *2 認知症の方やその家族のニーズに合った具体的な支援に繋げる仕組み。

学校、企業等で認知症サポーター*3養成講座を開催し、令和6年度は576人が参加した。養成講座については、開催回数が減少し、サポーター数は伸び悩んでいることから、若年世代への養成講座の開催に向けて関係機関への働きかけを推進する。キャラバン・メイト*4について、今後、実働者割合の向上に向けて非活動者に対して、学び直しのきっかけとして認知症サポーター養成講座受講の働きかけを行い、実働者割合の向上を図る。

- *3認知症について正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で手助けする応援者
- *4 認知症サポーター養成講座の講師役。自治体等が主催するキャラバン・メイト養成研修を受講し、登録する必要がある。

基本方針 4 介護人材の確保

基本施策項目 10－1

介護業界のイメージアップに向けた情報発信

指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
「介護の出前授業*1」の 実施中学校数(校)	6	8	14

基本施策項目 10－2

多様な人材の参入促進

	指標名	令和4年度 実績値	令和6年度 11月末実績値	令和8年度 目標値
①	松江市総合事業訪問型サービス A従業者養成研修*2受講者数 (人)	10	7	20
②	先進事例等共有セミナーの 開催回数 (回:計画期間中の累計)	2	1	3

R6年11月末までの取組み内容、課題、今後の取組み方針

.....

令和6年度は、未実施校へ訪問し、事業説明を行う等、実施校数アップを図った。11月末現在で昨年度より2校増の8校で実施。今後は、内容の見直しや未実施校へのアプローチ等を行っていく。

*1 現場の最前線で働く介護職員を「コンシェルジュ」として派遣し、オリジナルの教材を活用した講義や車いす体験等を行う出前授業。

①令和5年度実績は年2回開催で7名であったが、令和6年度は、SNSを活用した周知等により第1回目の参加者が7名であった。令和7年3月開催予定の第2回目の研修も同様に周知を行い、受講者の増を図ることで、介護事業所の人材確保につなげていく。

②令和6年11月15日に社会福祉法人に勤めている方を講師に招き、介護助手導入に向けた多様な人材の活用についてセミナーを開催した。来年度以降、参加者の増加に向けセミナー内容や周知方法についてブラッシュアップしていく。

*2 松江市総合事業訪問型サービスA（身体介護を含まない掃除・食事の準備等の在宅サービス）に従事するために必要な知識や技能を習得する研修